

スマートタウン・スマートシティの展望

地域の成り立ちを踏まえ、ICTを活用した新しい街づくりと都市開発

情報通信技術（ICT）を活用した新たな街づくりと都市開発に際しては、各地域における課題の解決に加え、東日本大震災からの復旧・復興にも大きな期待が寄せられている。特に、平時のICTの活用と災害時における防災・減災機能の連携、エネルギー利用の見える化とマネジメント、社会インフラとしてのICT基盤の整備などを、各地域の成り立ちを踏まえたうえで実現することが必要である。そこで、スマートなICT、スマートな街づくり、スマートハウスに関してご活躍をされている第一人者をパネリストに迎え、スマートタウンとスマートシティを展望する。

日 時：2012年12月13日(木) 14:00～17:30

会 場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

■プログラム

司会：倉田成人（鹿島建設技術研究所）

1. 基調講演

- (1) ICTを活用した新たな街づくり — スマートなサイバー世界と実世界の融合をめざして
：徳田英幸（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科委員長／環境情報学部教授）
- (2) ストリートスマートな建築と都市
：宇野 求（建築家、東京理科大学工学部第一部建築学科教授）
- (3) 柏の葉スマートシティプロジェクト
：河合淳也（三井不動産柏の葉キャンパスシティプロジェクト推進部長）
- (4) 生活者目線からのスマートハウス像
：吉田博之（大和ハウス工業総合技術研究所）

<休憩>

2. 討論

パネリスト：徳田英幸、宇野 求、河合淳也、吉田博之

モデレータ：倉田成人

3. まとめ

加賀有津子（大阪大学教授、日本建築学会情報システム技術委員会委員長）

参加費等はこちらをご覧ください。

→ <http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2012/121213-14.pdf>